

学校教育目標	<input type="radio"/> よく考える子 <input type="radio"/> けんこうな子 <input type="radio"/> すすんで働く子 <input type="radio"/> 思いやりのある子	教育ビジョン	【目指す学校像】	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校	学校像	児童像	教師像
			【目指す児童像】	未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供			
前年度までの学校経営上の成果と課題	令和6年度評価報告書		【目指す教師像】	児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に臆することなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師	垣根のない学校	子供は未来の守護者	仰げば尊し我が師の恩

<成果>今年から「ふじみスマイル」ができて、子供たちの居場所がまた一つ増えたり、子供たちの心が安定していて、大きなじめも発生せず、子供たちの安全・安心が守られていると感じます。良い方向に進んでいると思います。

<課題>スマホの見過ぎで寝る時間が遅くなるなど、生活習慣の乱れが、家庭学習の定着を阻害しているのではないかでしょうか。子供たちの学力の差が大きくて、これからも「誰一人取り残さない、個に応じた指導」を一層重視してください。

教育委員会基本方針	No.	学校経営方針(教育課程)	学校経営目標(具体的な施策)		評価指標・評価基準 A基準:9割達成 B基準:8割達成 C基準:7割達成		自己評価 保護者・児童・教職員の総合評価			学校関係者評価 学校関係者評価委員の評価		評価結果を踏まえた次年度の改善策
			中期経営目標 (25の目標)	短期経営目標 (50の施策)	取組指標 数値無しは100%を示す	成果指標 数値無しは100%を示す	取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
信頼される教育の確立	1	安全管理危機管理	安全を全てに優先させ、危険予知・未然防止、安全管理・危機管理を徹底し、安全で安心な学校生活を保障する。	常に最悪の状態を想定して未然防止、初期対応を期す。	防災・危機対応マニュアルの周知徹底 教室内鍵等の危険回避措置	重大事故発生…0件						
	2	コミュニティー・スクール	積極的に学校公開・情報発信を行うとともに、アンケートや個人面談、学校評価を有効に活用し、教育活動を改善する。	未来の守護者を育てる教育課程を地域とともに作る。	児童の危機管理能力の向上 きめ細やかな意思疎通の推進	児童・職員の訓練・研修 行事毎のアンケートメール	適切な事故対応…100% 保護者回答率…100%					
	3	学年担任制	学級経営を協働し、「垣根のない学校」として、誰もが安心して過ごせる、一人一人にとって居心地の良い学校をめざす。	学年担任制の効果的な制度設計と、円滑な実施・改善。	学年担任制の構築・実施 教科担任制等の共同体制の充実	学年担任制の導入 教科担任制の導入	円滑の実施…8割 児童の満足度…8割					
	4	心の居場所づくり	一人一人の居場所づくりや心に寄り添う相談など、不登校等、一人で悩みを抱えない相談体制を構築する。	様々な人と関わりをもち、悩みを話せるようにする。	全教員による個の支援・相談 SOSを出せる雰囲気を醸成	共同担任制の充実強化 SOSカードの効果的な活用	大人に相談できる…9割 学級満足度…9割					
	5	働き方改革の徹底	全職員が、働き方改革の意義を理解し、野球型からサッカー型の職務行動へと変革し、個が自律した組織とする。	働き方改革推進プランを策定し、教育の質を向上させる。	残業時間毎月30時間以内 電子化による校務の効率化	月金5時間・水4時間授業 欠席連絡・通知文等の電子化	残業30時間以内…全教員 週1回定期退勤…全教員					
	6	ワンチームでビジョンを共有	通常級、専科、さくら学級、きこえことば、大空教室、事務職員等、すべてが同一のビジョンを共有する組織とする。	内に開かれた教育を実現し、ワンチームで運営する。	教科担任制、交流及び共同学習 教員同士の意識改革・一枚岩	交流及び共同学習 教員の交流授業	教育目標共有…全教員 各自の目標達成…9割					
確かな学力の定着	7	学習習慣・学習規律の定着	自ら学びを生かそうとする主体的に学びに向かう力を涵養するとともに、学習習慣を確立する。	「学びのすすめ」「自主学習ノート」「寺子屋」の推進。	授業・補習と家庭学習の一体化 自ら学びに向かう姿勢の涵養	寺子屋充実…9割実施 自主学習ノート…週1回	寺子屋の満足感…8割 学年×10分の達成…8割					
	8	基礎・基本的な学力の定着	実際の社会や生活で生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。	学力の把握・検証に基づき授業改善を推進する。	指導と評価の一體化の推進 板書や発問する技術の向上	授業改善推進プラン改善 習熟度別学習の拡大充実	診断シート…5割以上 授業が分かる…8割					
	9	新たな価値を創造する力	創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導き、新たな価値を創造することができる資質能力を育成する。	他者と協働し、学ぶ楽しさ、学びに向かう姿勢の向上	探究ノートの効果的な活用 自ら考え判断し表現する学習	探究ノートの活用・充実 課題解決学習…全教科	主体的に課題解決…8割 意欲的に課題解決…8割					
豊かな心の醸成	10	自己有用感の醸成	一人一人の個性を生かし、相互の信頼関係を深める中で、自己の存在価値の認識等、自己有用感を高める。	自己有用感を高め、児童が個々のよさを發揮できる。	QUを踏まえた特別活動の充実 異年齢集団の活動の推進	学級会・異学年交流の充実 人権週間・人権集会の充実	社会通念上いじめ…0件 自己有用感が向上…8割					
	11	認知機能・社会性の向上	コグトレ等で認知機能を高め、感情統制、対人スキルを養い、自他共に敬意をもって関係する力を付ける。	自他ともに大切にできる豊かな心情を育成する。	認知機能や感情統制の支援 やりぬく力、辛抱する力の育成	自己有用感を図る特別活動 意図的計画的なコグトレ	認知機能等が向上…8割 他者との関係が向上…8割					
	12	内面に根ざした道徳性の涵養	人権尊重の精神を基調に、自他を大切にし、共によりよく生きるために、児童の内面に根ざした道徳性を育成する。	問題解決的あるいは体験を通して発展構成の工夫。	広い視野で考え方論する道徳 内面に根ざした道徳性の涵養	考え方論する道徳…9割 命の授業の実施…全学年	自分事として考え方論…8割 自分事として振り返り…8割					
健やかな体の育成	13	健康管理食育の推進	手洗いの徹底、TPOに応じたマスクの着脱など、感染状況を踏まえた新しい生活様式の行動ができる。	健康教育・食育推進計画を改善・充実、徹底させる。	新しい生活様式の定着 食育の計画的な推進・充実	「+」60強化週間…年3回 お弁当日の課題設定	1日の病欠…3人以下 お弁当課題遂行…8割					
	14	体力・運動能力の向上	基礎的な体力の向上と運動習慣、生涯に渡って積極的に運動に親しみ資質や能力を高める。	体力調査結果を検証・活用し、体育授業を改善する。	元気アップタイムの拡大充実 新しい上履きの推奨・足育推進	元気アップタイムの拡大 体育の授業の工夫改善	外遊び…週1回90% 運動が楽しい…8割					
	15	ストレスに対処できる力	心と体の関連性を理解し、様々な欲求やストレス等に対して、適切に対処できる力を育てる。	学校いじめ防止基本方針に基づき、組織的に取り組む。	多様な対処方法を学ぶ機会の提供 多様な対処方法を推進	学級以外の児童支援 自殺防止授業の実施	大人に相談できる…9割 不登校傾向…3%未満					
輝く未来に向かって	16	言語力の向上	学校図書館の機能の充実を図り、言語能力とともに、未知の課題に向き合い思考する力を育成する。	学校図書館活用を中心に、言語活動を充実させる。	学校図書館活用の推進 短作文・読書感想文の指導充実	図書館活用授業…全学級 書くことの指導…全学級	言語力向上…8割 短作文・読書が好き…9割					
	17	情報活用力の向上	1人1台端末やオンライン活用を含め、情報活用力を育成するとともに、新たな解を創造する力を醸成する。	見方・考え方を働かせながら思索する場の充実。	1人1台タブレットの効果的活用 プログラミング教育の推進	教育の情報化…全学級 プログラミング…全学級	情報活用力向上…8割 論理的思考力向上…8割					
	18	探究力の向上	教科横断的に各教科等の教育内容を相互に関連付け、配列し、6年間を見通した教育課程全体を往還させる。	育てたい子供像を明確にし、教育課程全体を関連付ける。	教科等を関連付けた指導計画 総合的な学習の時間の改革	探究6年間の指導計画策定 探究の日実施…全学年	年間指導計画実施…9割 探究学習の達成感…9割					

